

女川町 支援活動レポート

2015.8.1～2015.8.2

(東京都港区 白金/四の橋商店街納涼祭)



頑張ろう日本！ 頑張ろう東北！



平成27年8月11日(火)
東北応援団 白金支部

女川町 支援活動レポート

東日本大震災により、亡くなられた方のご冥福を、心からお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を、心からお祈り申し上げます。

1. はじめに

東日本大震災から5回目の夏を迎えました。復旧から復興へと歩みを進める女川町では、今年3月、JR石巻線最終駅「女川駅」が再開し、「まちびらき」の式典が行われました。女川町は、基幹産業である水産業の復興、そして人口減少の対策として外から人を呼ぶ街づくりに、官民一体となって取り組んでいらっしゃいます。「まちびらき」は行われましたが、真新しい駅を背に女川湾を見ると、まだまだ造成中の土地が眼下に広がります。駅前には、待望の自力再建の店舗がようやく数軒オープンとなりましたが、賑わいの拠点と期待を寄せる駅前プロムナードの完成には、まだ数ヶ月を要するようです。そんな中でも女川町に足を運ぶ皆さんへ「おもてなし」と、駅前広場に「観光案内所」を設置したり、また、おもてなし市(定期市)を開催したりするなど、女川町の対応の早さ、真摯な取り組みに感銘を受けます。

女川町の「まちびらき」が宣言された今年、白金支部でも微力ではありますが、女川町PRをサポートさせていただきたく、昨年に続いて「白金/四の橋納涼祭」に「女川町観光協会」さんとのコラボレーションで出店させていただきました。

また、今年も白金支部の売上金は、「女川向学館」(※)に全額寄付をさせていただきます。

(※) 女川向学館

女川向学館とは、NPO法人カタリバが、女川町で被災し仮設住宅での暮らしを余儀なくされた子供達に、放課後の居場所づくり、また、勉強を通して将来への希望を持ってほしい、との思いから設立された学習塾です。

2. 活動報告

(1) 概要

- ◆イベント名 白金/四の橋商店街 納涼祭2015
- ◆日時 2015年8月1日(土) 15:00~21:00
2015年8月2日(日) 15:00~21:00
- ◆会場 四の橋商店街(港区白金3-9-8 付近)



秋刀魚焼きは煙もスパイス！

(2) 出店目的

女川町PRとして、女川の物産を販売する。また、白金支部の実演販売の売上金は、「女川向学館」さんへ全額寄付とする。



秋刀魚の煙がブースを盛り上げます！



ブースの目印はこの旗です！

(3)出店の構成

- a. 炭火焼き秋刀魚、ホタテ炭火焼の実演販売、および生ビール販売
 - ◆ 女川産さんま炭火焼き：販売目標 各日 440尾 計 880尾
 - ◆ 女川産ホタテ炭火焼：販売目標 各日 160枚 計 320枚
 - ◆ 生ビール：販売目標 各日 140杯 計 280杯
- b. 「マルキチ阿部商店」の女川町物産販売サポート

(4)活動レポート

6月10日(水)【中央大学ボランティアステーション「チーム女川」お話し会】平林より

中央大学ボランティアステーション所属の学生さん達のグループ、「チーム女川」とのお話し会を今年も実施しました。白金支部の活動説明の他、今年は、新しいリーダーの楠さんによる「チーム女川」の活動のプレゼンテーションもしていただきました。「チーム女川」が今一番力を入れているのは、女川町の防災対策を調べてデータや文書化し発表する事だそうです。防災意識を高め、日頃の備えを心がける事の大切さを自分達の周りの人に伝えていきたいと語る声を聞き、今後の活動に大いに期待したいと感じた報告会でした。

7月25日(土) および 26日(日)【秋刀魚焼き練習会】

夏祭の出店において、秋刀魚の仕入れ、焼き台の貸し出しなど、毎年本当にお世話になっている「横浜南部市場」さんの支援グループ、「愛と勇気と秋刀魚実行委員会」のイベントに、今年もお邪魔させていただきました。「愛と勇気と秋刀魚実行委員会」さんは、横浜を日本一のさんまの消費地にしよう！と、震災後に横浜市内の各所で毎週末女川町の秋刀魚を焼いて、風評被害をなくし、震災を語り継ぐためのPR活動を継続されていらっしゃいます。「チーム女川」のメンバーと共に秋刀魚の炭火焼のイロハを丁寧に教えていただきました。



毎年練習会でお邪魔する本牧の夏祭イベント



炭は高く！

7月26日(日) 活動打ち合わせ

お祭を一週間後に控え、参加スタッフで打ち合わせを行いました。当日の諸注意、特に、熱中症の対策や各担当の役割などを確認し、翌週に備えます。

8月1日(金) 前日準備

今年も四の橋商店街の前夜の準備に参加しました。「女川町観光協会」のブース位置は昨年と同じく、商店街の中程。出店位置の確認も含め、商店街全体のターフの立ち上げなどをお手伝いさせていただきました。



ブースの位置はここです！

8月1日(土)【白金/四の橋商店街納涼祭 一日目】

いよいよ当日です！早朝から「横浜南部市場」へ秋刀魚や道具の引き取り、各所からの道具集めを開始。女川町からの物産品、ホタテの受け取りは、今回は白金の近隣のお店「たちばな」さんで行わせていただきました。お昼近くには、商店街では他のブースも着々と準備進んでいます。女川町ブースも大道具の設置などを始めます。気温もぐんぐんと上昇、暑い、熱い一日になりそうです。

12時半に、1日目の休憩場所として使用させていただいた区の施設の会議室にスタッフが集合、注意事項や手順などの確認を行いました。そして白金支部の赤いシャツに着替え、ぎらぎら輝く夏の太陽の下、女川町PR部隊、白金支部の出動です！

荷物を手にブースに移動し、道具の設置、ポップの取り付けを済ませていきます。2時前には予定通り、炭の火おこしを開始です。「炭に火をつけるのは、人じゃない！火だ！」南部市場さんの教えの通り、着火材の上に木炭を置き、炭を高く積んで置いていきます。15時のお祭開始に合わせて準備が順調に進みました。

15:00 お祭開始

お祭開始時刻です！「女川町の美味しい秋刀魚の炭火焼きはいかがですか？」「女川産のぷりぷりのホタテはいかがですか？」今年は開始早々から、秋刀魚やホタテの注文が入ります。キンキンに冷やした生ビールも、暑さも手伝って、順調な売れ行きです。脂ののった秋刀魚は、火力のある炭の遠赤外線力によって、中までふっくらと火が通っていきます。そしてある程度火が通ってくると、脂が炭の上にポタポタと落ち、炭に落ちた脂は煙となって、網の上の秋刀魚を焼していきます。これが、家庭ではできない、秋刀魚の炭火焼の美味しさの秘密です。女川町の脂ののった秋刀魚の最高の調理法です！



ピッカピカの秋刀魚です！



呼び込みスタート！



炭火焼の写真を撮る方も

そして、安定の売れ行きのホタテの炭火焼は、今年は女川町の魚の目利きのお店、「おかせい」さんより仕入れました。殻ごと豪快に、そしてジューシーに焼き上げ、ホタテのいい香りが道行く人を誘います。ホタテ好きにはたまらないようで、早速、買い求める方で列ができていきます。列整理の担当は、列の最後尾に立ち、「女川町の美味しい秋刀魚とホタテの炭火焼の最後尾はこちらです！」と声をだして呼び込みをします。

17時には今回秋刀魚の塩ふりや、食材の一時保管の協力をいただいた場所より、残りの食材もブースに搬入し、完売目標の20時に向けて、気を引き締めて焼いています。窓口や接客の係は並んでくださった方に、女川町のお話をさせていただいたり、物販コーナーのお勧めの名産品を紹介させていただいたりしました。今年で3回目となる「白金/四の橋納涼祭」への出店です。リピーターの方も増えてきたようで、「今年も食べに来たよ！」「買いに来たよ！」と、声をかけていただき、嬉しく思いました。

20:00 完売！

予定の時間に無事に秋刀魚やホタテが完売、物販も明日の販売分を残し片付けとなりました。ある程度片付けたところで、全員で集まり、終了報告です。「一日、お疲れ様でした！翌日の参加の方、引き続き明日もよろしく願います！」

この日は、物販にきていただいた「マルキチ阿部商店」さんの阿部 淳さんを交え、近隣の中華料理のお店で懇親会を行いました。阿部さんより、「女川町のために皆さんが汗を流してくれることが本当に嬉しい。」というお言葉をいただき、「2日目もがんばりましょう！」と、一本締めでお開きとなりました。

8月2日(日)【白金/四の橋商店街納涼祭 二日目】

この日も午前中からぐんぐんと気温は上がり、暑い一日の予感がします。この日販売分の秋刀魚を「横浜南部市場」に引き取りに伺い、白金ではこの日も「たちばな」で「おかせい」さんのホタテの受け取りをさせていただきました。

12時半にスタッフが集合、荷物を置かせていただいている、後方支援の方の家の駐車場に立ち寄り、道具を持ってブースに向かいます。

前日の経験から、夜間用の照明やポップの取り付け位置などを少し改善しながら、設営を進めました。時間通りに炭の火おこしを始めることができたので、お祭開始前に手の空いた人は少し休憩を挟んでもらいました。アスファルトに照り返す太陽、炭火の熱、暑さで体力を奪われてしまわないよう、涼しいところでこまめに休むように繰り返しスタッフに伝えました。

15時、お祭2日目開始です！前日、声出しが足らなかった印象があり、この日は全員で声を出して開始の合図としました。「宮城県女川町のブースはこちらです！脂ののった秋刀魚やホタテを炭火焼で！物産品の販売もあります！是非お立ち寄りください！」この日は、東京学芸大学附属国際中等教育学校の高校生2名と引率の先生が、お手伝いにいらしてくださいました。石巻の高校生のブラスバンドを東京に呼んで演奏する為の資金をと、これから自分達で学園祭や他のお祭などに出店を考えているそうです。お祭の運営などを見たいとのことで、秋刀魚焼きや物販、バックヤードのお手伝いと、いろいろな役割を経験していただきました。また、女川を支援する仲間も多数駆けつけてくださり、物販のお手伝い、秋刀魚焼きをお手伝いいただきました。

実演販売に並ぶ方々には、物販の試食品を出してお勧めします。「マルキチ阿部商店」さんの農林水産大臣賞を受賞した昆布巻き「リアスの詩」は、秋刀魚や鮭などの女川の海の幸を、職人さんが一本一本丁寧に最高級の三陸産昆布を使って巻き、やさしく炊き上げた名品です。その他、ホヤの加工品の新商品なども販売されています。道行く方にも試食をお勧めしました。

秋刀魚やホタテの豪快なドラム缶の炭火焼に誘われて、買い求めてくださるかたの列は途切れることなく、無事に20時に完売となりました。物販を続けながら片付けに入りました。

21時にはあらかじめの道具が片付き、物販も終了。皆さんに集まっていたき、2日間無事に終えたことを互いに労をねぎらって解散となりました。

以上を持ちまして、この度の活動の報告とさせていただきます。



「チーム女川」の焼き姿も堂々と！



「マルキチ阿部商店」の阿部淳さん

3. 活動を終えて

三回目の「白金/四の橋商店街納涼祭」の出店は、例年のない暑さとの戦いでした。そんな中、ブースに足を運び、並んで購入していただいた皆様、本当にありがとうございました。「去年もここで秋刀魚を食べて美味しかったんだ。」「女川町のお店だったよね。」そういったお声を耳にすると、嬉しく思うと同時に、継続することの重要性を感じました。女川町の名前が、一人でも多くの方の耳に、心に届き、どこかで「女川」の名前を耳にしたり、テレビで観たりした時に「ああ、あの時の」と思い出してくださるきっかけとなると嬉しいです。そして、またこうしたイベントに再度足を運んでいたり、いつか女川町を訪ねたりする方が一人でも増えることを願いたいと思います。

今年も「女川町観光協会」さんとのコラボレーションとして出店できましたこと、そして、女川町よりお越しいただきました、「マルキチ阿部商店」の阿部 淳様のご協力により無事にこのイベントが終了しましたことを、深くお礼申し上げます。また、出店を受けさせていただきました四の橋商店街の皆様、そしてスタッフとしてご参加いただいた皆様、ありがとうございました。皆様のお陰でこの度の収益金は「250,739円」となりました。今年も全額「女川向学館」に寄付させていただきます。ありがとうございました。女川町PR活動、第二弾、第三弾と続きます。引き続きご協力、ご支援いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

4. 今後の活動

◆麻布十番商店街納涼祭

【日程】 8月22日(土)～8月23日(日)

【活動内容】

女川町PR活動夏の陣、第二弾！毎年たくさんの方で賑わう「麻布十番祭 2015」で、今年も女川町の脂ののった秋刀魚の煙で狼煙をあげます！また、前日水揚げされたばかりの活きホタテの炭火焼も豪快に殻ごと炭火焼でお出します。女川町からは「蒲鉾本舗 高政」さんの蒲鉾各種、「マルキチ阿部商店」さんの秋刀魚の昆布巻き他、女川町の名産品が勢ぞろいです！

◆みなと区民まつり 2015

【日程】 10月10日(土)～10月11日(日)

【活動内容】

女川町PR活動、秋の陣!「みなと区民まつり」に今年も出店です。定番となってきたホタテ入り女川汁のほか、女川町の美味しい魚を使ったスペシャルメニューを考えておりますので、乞うご期待! もちろん、女川町からは「蒲鉾本舗 高政」さんのおなじみの蒲鉾各種や「マルキチ阿部商店」さんの農林水産大臣賞受賞の秋刀魚の昆布巻き「リアスの詩」、他多数の物産販売をいたします。

5. 補足事項

(1) 参加者(敬称略/順不同)

川端 陽子	安部 由美	後藤 奈津子	平林 真百合
三上 加寿子	末石 義史	長南 美貴	末石 義史
石垣 健	三谷 嗣郎	増平 貴之	小澤 徹
柳澤 一寛	五十畑 昌寛	野口 砂絵子	小幡 真理子
楠 貴裕	黒川 涼香	佐藤 広基	中村 亮士
青木 遥	越智 つぐみ	池田 木綿奈	吉野 琢巳
岩立 文香	林 郁美	北村 悠馬	田中 智子
小林 信行	鹿内 美穂	工藤 史大	

(2) 後方支援者(敬称略/順不同)

(故)橋本 翔二	橋本 直	橋本 渉	福島 康正(たちばな)
蜜口 真人	平林 春樹	斉藤 秀朋	若本 智子
川口 隆	加藤 豊	小澤 雅史	石川 重美

(3) 支援物資提供(敬称略/順不同)

株式会社カワチヤ・プリント 株式会社友邦社

(5) 協力(敬称略/順不同)

女川町観光協会 マルキチ阿部商店 横浜市南部市場

(9) 主催元

港区 白金/四の橋商店街

皆様からの、あたたかいご支援・ご協力のうで、成り立っております。
本当にありがとうございました。
私達は、被災地への支援活動を、継続していきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。



平成27年8月11日
東北応援団 白金支部
工藤 史大

★東北応援団 白金支部 WEBサイト★

<http://www.onagawa.e-ouen.jp>

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2012 Tohoku-Ouendan All Rights Reserved.